

進めナンバーワン

★どんなに小さいことでも
どんなに些細なことでも
なんだってかまわない
進めナンバーワン★★

強いばかりがいいのでないと
言われて久しい
今日この頃の競争疲れ
個性的ならそれでいいよと
勇気づけられ安心して
それでいいのか

持っているもの すでにあるもの
けして目指すものでない
だけどそれをさらに磨いて
目指せナンバーワン

平和主義であること
悪いことではない
それよりも努力し続け
勝てる人になること

★～★★

比べられない個性と個性
何が良くていけないかは人それぞれ
誇らしげに生きればいと
勇気づけられ安心して
それでいいのか

持っているもの すでにあるもの
確かにかけがえのない
だけどそこから埋もれないように
進めナンバーワン

一生懸命であること
悪いことではない
それよりも努力し続け
勝てる人になること

★～★★

この冬は暖かった

ソファの柔らかな
手すりを枕にして
まぶたの裏側
明るさ感じる
まどろみの中で身体中も
わずかに上下に動いてる
思い起こせば通り過ぎた
この冬は暖かった
ずうっと前から出会ってなかった
懐かしい人 たくさん出会えた

まぶたの赤い色が
やがて昔の時
映し出す鮮明に
懐かしい風景を
まどろみの中で身体中も
確かに前後に動いてる
思い起こせば通り過ぎた
この冬は暖かった
すでにこの世で会えなくなってる
懐かしい人 夢で出会えた

woo . . .

Ah . . .

空を見上げよう

もう何にもしたくない
ふと外に出てみると
いつの日か知らぬ間に
みそらいろ澄み渡る

すっかり暖かくなった
空気が心と裏腹に
手足の隙間を抜けてゆく
心地よい涼しさも残し

空を見上げよう今この瞬間に
力の戻りが確かに感じられる

もう誰とも会いたくない
そんな時にマスクして
いつの間に知らぬ街
みそらいろ澄み渡る

うっかり忘れたモバイル
不便さがむしろ幸いに
全ての関わりを閉ざした
心地よい居場所が生まれる

空を見上げよう今この瞬間に
心の戻りが確かに感じられる

空を見上げよう今この瞬間に
できる何かを確かに感じられる

後ろの風景

すっかり陽が沈んだ道
ふと車止めて振り返る橋の向こう
まだ白く光る いただきが
険しい山並み ああ

いま走りすぎていく
帰りの下ってゆく道
ずっとカーブ続きで
その先もよく見えないよ

ギアを下げて
ブレーキまでエンジン任せで
ひたすら走りいつも感じる
後ろの風景

とっぷり暮れてしまった道
ふと見上げるバックミラーに
追いかけられるよう時折映って
さっきの山並み ああ

いま通り過ぎてゆく
いつもと違う時間
そこはただ名残惜しい
なんとも言えない非日常

我に帰りブレーキ踏む
スピード抑えて
ひたすら走りいつも感じる
後ろの風景

いま走りすぎていく暗い山あいの道
長い休日の終わり
なんとも言えない寂しさ

ギアを戻し静かになった
エンジンの音で
また始まる日常のような平坦な道

縁とゆかりと

縁は偶然で不思議なつながり
ゆかりは必然で過去とのつながり
いい時もあれば悪い時もある
けれど断ち切りたくない

つながりなくても自分の運命だけは
かけがえのない与えてもらえるもの

縁とゆかりと運命も共に
恩の字に変えたい

縁は自分で作れないもの
ゆかりも自分で作れないもの
いいこともあれば悪いこともある
けれど無くしたくない

自分の力で作れる運命だけは
けれどそれも最後は変えられない

縁とゆかりと運命も共に
恩の字に変えたい

さあ出かけよう

一年のうちで一番
気持ちよく過ごしやすい

大きめのハンカチ 水筒も一緒に
いつも背負ってるバッグに詰めて

青空の下 出かけよう
まずは車で 遠くの場所へ
幾つになっても この気分
新緑見にゆこう

なんでもないことそれでも新しい
何にも変えてはないけど
今日はいつもと違う

ひとやすみする SA
降り立ちドア開けた時

初夏の風が音を立てて
ふきすぎてゆく藤棚の下

青空の下 ベンチに座り
片手に持った ソフトクリーム
幾つになっても この気分
見つめる山並み

なんでもないことそれでも楽しい
何にも考えてないけど
今日はとても冴えてる